

平成30年度職員提案 提案一覧

(採用提案3件/提出提案18件)

受理番号	提案件名	個人・共同提案の別	提案概要		現状	褒賞	審査の結果
			改善方法	効果			
1	公用車利用申請の電子化	個人	職員の公用車使用申請を、既存システムやメールなどの活用により電子化する。	事務の効率化	公用車使用申請は紙媒体により行っており、申請、変更申請等の都度、本庁にある集中管理室まで、職員が直接、訪れ、提出している。	優良賞	公用車の使用申請手続きを電子化することで、事務の効率化につながる提案である。
9	設置費無料の移動型授乳室の設置	個人	他市に事例がある設置費無料の授乳室を参考に、本庁へ授乳室を設置する。	市民サービス向上	本庁内に授乳室が設置されていない。	優秀賞	本庁内への授乳室設置は子育て世代の母親の声に応えるものであり、サービスの向上につながる提案である。
14	外国人への窓口対応のための翻訳サイト・翻訳機の導入の提案	個人	音声翻訳機を導入する。	市民サービスの向上	窓口対応をする職員それぞれの英語力あるいは、通訳できる方と一緒に来庁していただくことで対応している。	優秀賞	窓口対応における外国人との意思の疎通が容易になり、市民サービスの向上や職員の負担軽減につながる提案である。
2	愛犬と住みたいまちづくり	個人	神栖中央公園内にドッグランを設置する。また、イベント開催時、市が主体による犬と参加できるブース設置はしていないが、獣医師会主体では、数年に一度、犬と一緒に参加できる飼い方相談等のブースが設置されている。	神栖市のイメージアップ	市内の公園に、ドッグランの設置はない。また、イベント開催時、市が主体による犬と参加できるブース設置はしていないが、獣医師会主体では、数年に一度、犬と一緒に参加できる飼い方相談等のブースが設置されている。	-	イベント開催時のブース設置であれば、獣医師、ボランティア等の協力を得ることが可能な場合は検討の余地はあると考えるが、公園内等への常設型ドッグラン設置については、他の公園利用者や周辺住民への影響、安全性・管理体制の確保など、現状では課題も多く残るところである。ドッグラン設置に対しての市民からの需要や運営・管理体制に関する事例などの情報、人的・財政的負担と設置することによって得られる効果など、判断に必要なより具体的な内容が不足していたことから、採用に至らなかった。
3	ホームページの改善	個人	住みたい市ランキングの上位の市等を参考に、見やすく、さらに市をPRするホームページをつくる。	神栖市のイメージアップ 市民満足度の向上	平成22年度のホームページリニューアル以降、時間経過とともに情報量増加や情報分類のずれが生じている。ホームページのリニューアルに向けては、事務所管課で準備を進めているところである。	-	職員アンケートの結果では多くの賛同が得られており、事務所管課においても既にウェブアクセシビリティ対応やコンテンツの見直しを含めた、市ホームページのリニューアル事業を、次年度12月に公開する予定で取り組んでいるところである。よりよいホームページとするために、他市の参考例や独自の案など、より具体的な改善案をもって提案をされたい。
4	カミスココちゃんの製作	個人	カミスココちゃんとして、カミスココくんとベアになるキャラクターを製作する。デザインは一般募集し、投票を行い、決定する。	神栖市のイメージアップ	神栖市イメージキャラクターは「カミスココくん」のみである。	-	市の魅力発信に係る着想としては評価するところがあるが、提案するにあたっては、現状の把握やゆるキャラ作成・運用に要する労力と比べて、男女ベアにすることで、どれほどの効果が期待できるのかなど、より具体的な内容を示されたい。
5	日曜開庁窓口の増設	個人	日曜開庁窓口にも子ども福祉課を追加する。国保年金課の取扱い業務を増やす。	市民へのサービス向上	市民課・市民生活課・課税課・納税課・国保年金課・水道関係のみ開庁しており、取扱いできる業務に限りがある。児童扶養手当の申請や、国民健康保険の喪失手続きができない。	-	市民サービスの向上を目指した提案としての着想はよいが、現状の日曜開庁の実施状況を含め、取扱業務を増やすにあたっては、いくつかの課題をクリアする必要がある。それらを解決するための具体的な手法や体制についての提案を期待するところである。なお、日曜開庁業務については、事務所管課において継続的に検討していくとのことであるから、よい解決案が見出された際には、当該制度によらずとも、協力を願いたい。
6	カミスココくんの母子手帳の作成	個人	母子手帳の表紙をカミスココくんにする。	神栖市のイメージアップ	現在は、ミッフィーの表紙になっている。付属品(母子手帳カバー、マニティーカーホルダー等)も含めて安価で購入している。	-	カミスココくんを利用した市をPRするための手法としては、一定の効果が見込まれるものとするが、実施を想定して、事務所管課が試算した経費は、現在の約7倍に及ぶとの見込みであり、費用対効果の面で課題を残す提案となったことが惜しまれる。経費を押さえることが可能な具体的な手法などを付して、改めて提案されることを望む。
7	路線バスの経路拡大	個人	銚子駅矢田部公民館行きバスの経路を、太田や波崎三中まで延長する。	市民の利便性の向上	矢田部・太田地区は3本/日のみ運行のエリアがある。バスの利用者が年々減少しており、社会実験バスの運行も打ち切りになった経緯がある。	-	公共交通の利便性の向上は市の課題とするところであるが、提案内容については、既に事務所管課において検討した経緯があるため採用に至らなかった。経路の延長等は、交通事業者にとって大きな負担を伴うものであるため、それを補う需要や収入が確認できなければ、実現は非常に困難である。路線バスに拘らず、交通弱者の交通手段の確保に係る新たな発想での提案を期待する。
8	転入者へお配りしている、『地下水の飲用自粛について』の案内用紙について	個人	目標物を記載する、地区毎にするなどし、自粛範囲の境界を明確にする。	市民サービスの向上	該当地区への転入者に対して、『地下水の飲用自粛について』の案内用紙を配布しているが、自粛範囲を示す地図が分かりにくい。	-	地域住民に対してのサービス向上につながる提案であるが、所管課との事務調整等によって、改善可能な内容であったため、採用には至らなかった。なお、事務所管課では提案内容に沿って改善を検討するとのことである。
10	コンピューターシステムの画面を分かり易く	個人	行政改革推進課において、庁内で共用で使用する情報システムの見出し、レイアウトなどが統一されるよう助言する。	事務の効率化	利用しやすいシステムとなるよう、随時協議を行っている。	-	提案の内容については、システム所管課において、職員からの意見も参考に、随時、電算処理会社と協議しながら、可能な限り職員が利用しやすいシステムとなるよう取り組んでいるという状況であるため、採用には至らなかった。
11	有名人や団体を呼ぶ回数を増やす	個人	防災アリーナを活用して、小さな催し等を開催するなどしてゲストを呼ぶ。	神栖市のイメージアップ	文化センター等において年数回、コンサートや公演を行っている。また、開業初年度には、アリーナのみならず、公園一帯で集客を見込めるイベントの実施を検討している。	-	有名人の知名度を活用してイベントを盛り上げることに、一定の集客や市のPR効果は見込めると考えるが、提案は、その回数を増やすことが主な内容となっており、そのための手段や実施することによる効果などが不明確である。例えば、どのような有名人が相応しいか、また、それによりどの程度の効果が見込めるかなど、より具体的な提案を期待する。
12	バスの停車場所を分かりやすくする	個人	道路上に、バス停車位置(また停車付近の位置)を表記する。	渋滞の緩和 事故の防止	左記改善方法にある表記はない。	-	見込まれる効果として、渋滞の緩和、追突事故の防止が挙げられているが、乗降時間は乗客数により変化するものであるため、仮に提案を実施した場合でも、渋滞緩和の効果は見込めない。また、関東鉄道営業所によると市内におけるバスへの追突事故は発生していないとのことであったことから、採用には至らなかった。なお、事務所管課では、追突事故防止等のため必要な箇所がある場合は、調査・検討をするとのことである。
13	神栖市のインスタグラム開設	個人	インスタグラムを開設し、情報発信する。	神栖市のイメージアップ	神栖市の情報発信は、広報紙のほか、ホームページ、メールマガジン、ツイッターで行っている。	-	流行のSNSの一つであり、魅力的な写真を高い頻度で載せることができれば、話題になると考えるが、利用者の多くは若い世代で、いわゆる「インスタ映えする写真」を頻りに掲載していかなければ効果は希薄となる恐れがあり、これにかかると人員負担等を克服する提案が不足しているため、採用には至らなかった。市の情報や魅力の発信について、さらに画期的なアイデアが浮かんだ際は、改めて提案されたい。
15	①日直業務嘱託員の廃止 ②閉庁時における波崎総合支所での戸籍受付業務の廃止	個人	波崎総合支所において①日直嘱託員を廃止し、職員が当番制で出勤する。このとき職員には日直手当を支給することで人件費を抑える。②将来的に、閉庁時、本庁のみでの受け付けとする。	経費削減 職員の負担軽減	波崎総合支所では、土日祝日(年末年始含む)の戸籍受付業務は、日直業務嘱託員が行っており、障害発生等に備えて、職員が電話待機をしている。	-	波崎総合支所における戸籍届受付の廃止については、市民サービスの低下を招く恐れがあるため、現時点での実現性は低いものと判断する。日直嘱託員を廃止し、職員対応とすることは、職員への負担増につながるほか、振替休日によって、通常勤務日の業務に与える影響も懸念される。また、提案にあった宿日直手当は、このようなケースに当てはめることは適当ではないため、経費面においても大きな効果は見込めないものと考えられる。但し、休日における職員の電話待機等の負担軽減策については、事務所管課内で協議・検討されたい。
16	公共料金の一課集中管理(光熱水費、電話代等の支払処理の簡略化)	個人	電話代等について、市に対し一括請求するよう契約者と調整し、公共料金特別会計を設置するなどにより、毎月の支払いを一課集中管理する。各課は、年度末に一般会計から繰出処理を行う。	事務負担の軽減 経費削減	毎月、各課での支払をしている。口座引落を推奨しており、事務の効率化に一定の効果を得ている。	-	公共料金の支払い処理を一元化することで、実現すれば、一定の負担軽減は見込まれる一方、関係各課においては、予算管理及び執行管理に対する意識が薄れる恐れが懸念される。各課においても執行状況の確認は適宜適切に行うべきものであり、これらに係る事務負担までを軽減できるものではないと考える。また、提案の特別会計についても、法令で義務付けられているもの以外の設置については、特に慎重に検討することが必要であろう。
17	窓付封筒の一括発注	個人	会計課において、窓付封筒を一括発注する。	経費削減 事務の効率化	大量発送時に使用する窓付封筒については、必要な部署が、必要用途のために、それぞれ発注している。	-	複数の課等において、統一した様式での利用が可能であるとの前提であれば、経費面において大きな効果を生む提案であるが、各課等においては、用途に応じ、意図して封筒様式を使い分けている現状がある。また、市税等に係る大量の印刷物については、封筒の調達から封入までを含め委託しているものも多いため、提案のとおり事務効率化が図られない懸念が残る。
18	定期人事異動の時期変更	個人	年度切替時(4月)に退職、昇任等に伴う人事異動、社会動態が落ち着きを迎える7月に配置転換等の人事異動を行う。	業務の円滑な執行	4月のみ人事異動を行っている。3月・4月期に転入転出数は多く、特に窓口業務を所管する部署は事務量が多い。	-	年度初めに繁忙期を迎える部署が少なくないことから、定期人事異動の時期を、出納整理期間を終え、社会移動の一段落する時期へと変更することは、スムーズな業務引継の観点からも有効な提案であるものの、退職者や新規採用職員、昇任、昇給に係る人事については4月の異動が不可避である。さらに、年度途中での異動が加わることを勘案した場合、実施に伴うデメリットも容易に想像することができる。職員アンケートの結果においても、賛否両論あり、引き続き検討を要する事項であると考えられる。